

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和01年12月24日

計画の名称	丹波市における快適な生活環境の実現（3）											
計画の期間	令和02年度～令和06年度（5年間）										重点配分対象の該当	
交付対象	丹波市											
計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・持続可能な下水道運営に向けた効率的な下水道経営を実現するため、統廃合事業の促進を図る。</li> <li>・安心安全な暮らしを守るため、雨水対策事業の推進及び施設の長寿命化を図ると共に、未整備区域の整備促進を図る。</li> </ul>											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,710	A	1,710	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R2当初)	中間目標値 (R4末)	最終目標値 (R6末)
1	新設予定の雨水ポンプ場（1箇所）を令和4年度末までに供用開始する 東部雨水ポンプ場の供用開始（1箇所） 供用開始箇所数	0箇所	1箇所	1箇所
2	污水处理施設統合予定箇所（12箇所）の工事を令和6年度までに供用開始する 污水处理施設統合施設の供用開始（12箇所） 供用開始箇所数	0箇所	5箇所	12箇所
3	下水道未整備区域の整備予定箇所（2地区）の工事を令和6年度までに供用開始する 污水管渠施設の供用開始（2地区） 供用開始地区数	0地区	1地区	2地区

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	丹波市	直接	丹波市	ポンプ場	新設	東部排水区(氷上中央)整備事業	雨水ポンプ場	丹波市						800		策定済
	A07-002	下水道	一般	丹波市	直接	丹波市	管渠(汚水)	新設	汚水処理施設統廃合事業	管渠新設、施設改築 12箇所	丹波市						870		策定済
	A07-003	下水道	一般	丹波市	直接	丹波市	管渠(汚水)	新設	下水道整備事業(未整備地区)	管渠整備 2地区	丹波市						40		策定済
											小計						1,710		
											合計						1,710		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R02	R03	R04	R05	
配分額 (a)	157	303	139	80	
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	157	303	139	80	
前年度からの繰越額 (d)	94	153	54	122	
支払済額 (e)	98	402	71	201	
翌年度繰越額 (f)	153	54	122	1	
うち未契約繰越額(g)	0	0	0	1	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0	0	0.49	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

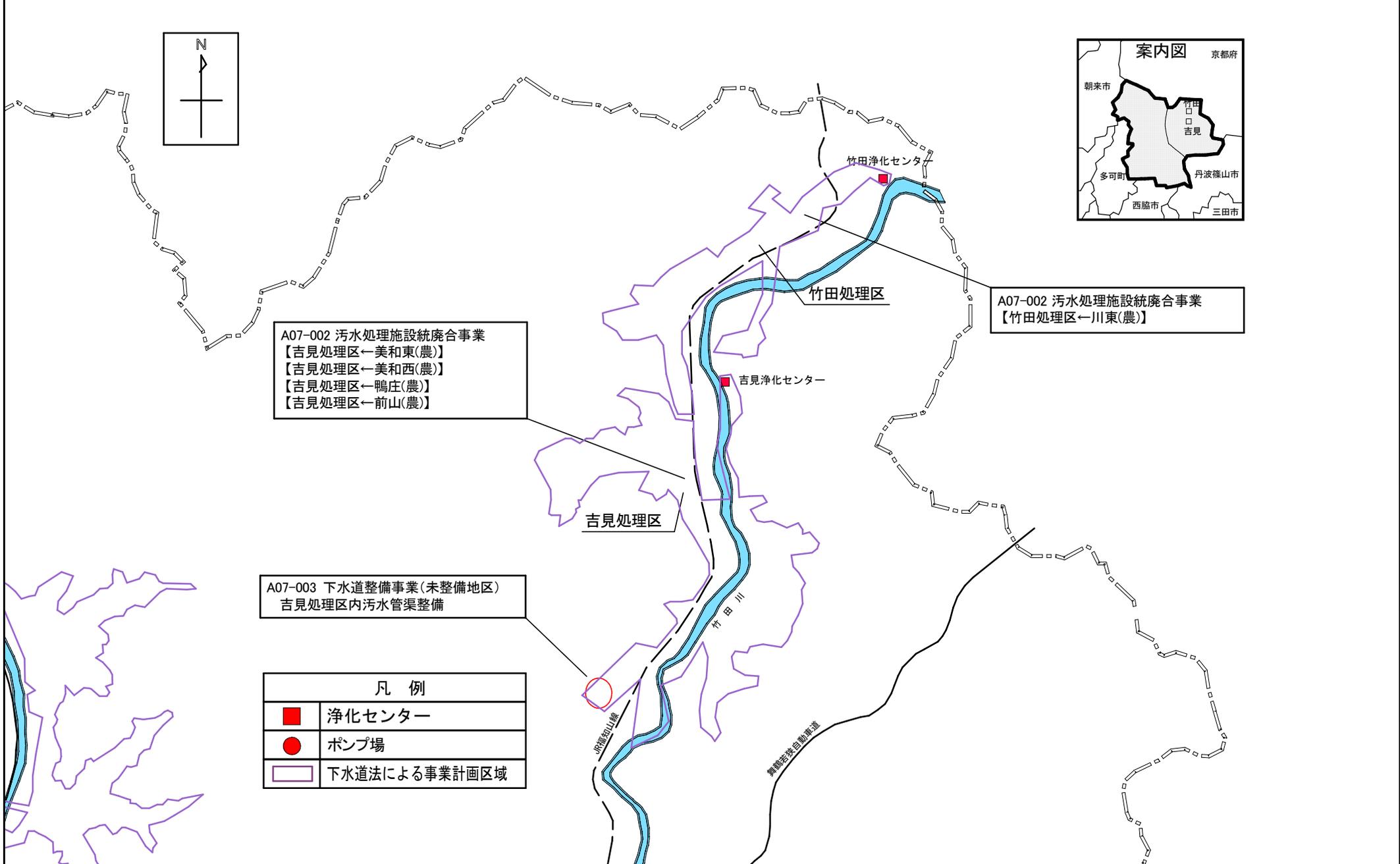
## 事前評価チェックシート

計画の名称： 丹波市における快適な生活環境の実現（3）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性 1) 上位計画（総合計画、生活排水処理計画、都市計画等）との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性 2) 下水道の諸計画（合流式下水道緊急改善計画等）との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性 3) 関連する諸計画（河川整備計画等）と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえて目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 2) 必要性という観点から事業内容、整備箇所の位置づけが高い。	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性 1) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性 1) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性 2) 目標及び事業内容と計画区域等との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 2) 関連する関係機関等の調整が、図られている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運 1) 事業実施に向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運 2) 計画について住民等との間で合意が形成されている。	○

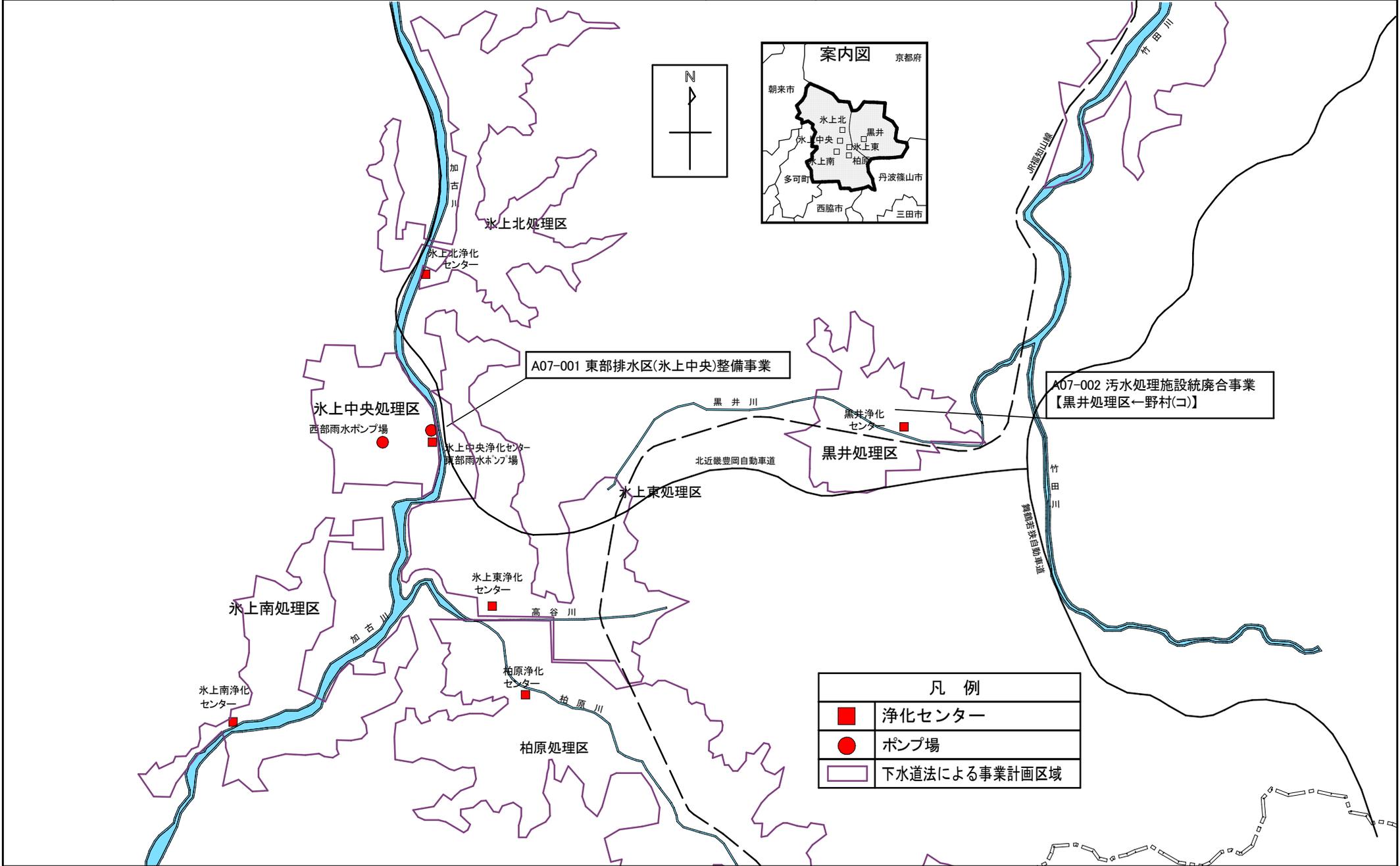
(様式3) (参考図面1) 水の安全・安心基盤整備

計画の名称	1 丹波市における快適な生活環境の実現 (3)	交付対象	丹波市
計画の期間	令和2年度～令和6年度 (5年間)		



(様式3) (参考図面2) 水の安全・安心基盤整備

計画の名称	1 丹波市における快適な生活環境の実現 (3)		
計画の期間	令和2年度 ~ 令和6年度 (5年間)	交付対象	丹波市



(様式3) (参考図面3) 水の安全・安心基盤整備

計画の名称	1 丹波市における快適な生活環境の実現 (3)		
計画の期間	令和2年度 ~ 令和6年度 (5年間)	交付対象	丹波市

